

ぜん ぎょう じ  
善巧寺報

8 月号



月刊 ● 善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号  
TEL 048(734)7660  
榎本明覚



●水芙蓉●

季節の花

～ 水芙蓉 ～

▼二〇二三年八月一日▲

# 定例法座

毎月 十一日

孟蘭盆会(歡喜会)

◎八月十一日(木)午後二時

～三時

於 法輪会館

## 「涅槃」

私たちの死は「亡くなる」と言いませんが、お悟りを開き仏陀と成ったお釈迦さまの場合、「死ぬ」とか「亡くなる」とは言わず「涅槃に入る」と表現されます。涅槃とはサンスクリット語のニルヴァーナの音写で、原意は「ロウソクの火を吹き消す」です。悟りを開き煩惱の炎熱から離れた仏陀であつても人間である以上、肉体的苦痛からは逃れられません。肉体的死によつて遂にその苦痛からも離れ、悟りそのものと成つた事＝涅槃と言うので

す。  
さて、お釈迦さまがいよいよ涅槃に入られる時、いつも側に仕えていた弟子の阿難は酷く狼狽したようです。それに対してお釈迦さまは「泣くな、一

切は諸行無常である」と諭されます。しかし、仏陀の本質である真実の智慧とそれに基づいた慈愛は、肉体の有無を超えて遺された者を守り安穩へと教え導くのです。実に仏陀に死は存在しないので「涅槃」と表現されるのです。

生への執着、死への執着から離れられない私たち、未だ悟り得ない私たちに「無量寿」たる仏陀は、姿形は見えないけれども常に働き続けていると言えるわけです。

※Covid-19 第七波の感染拡大中です。引き続きお寺もマスク着用・換気・消毒清掃といった感染対策を行っておりますが「一切は諸行無常」であります。感染リスクを  
ご勘案の上、お参り頂きますようお願いいたします。



# みほとけ会

＊ポジティブコキョウ

～ Zoom ミーティング ～

毎月第一・第三木曜日開催中の当会ですが、八月十八日と九月十五日はゲストに、大阪府八尾市光蓮寺 稻城 蓮恵さんにお越しいただきます。お話の内容は調整中ですが、『仏説阿弥陀経』講義になりそうです。

『阿弥陀経』『法華経』と日本仏教の根幹をなす名訳を世に送り出した鳩摩羅什三蔵法師。その波乱に満ちた人生と凡夫に対する深い洞察は、大乘仏教が弘く伝わっていくのに極めて重要な役割を果たしました。

といったようなお話も出てくるかと思ひます。必聴です。

※参加ご希望の方は、

jetfidget@gmail.com

まで

「みほとけ会 ZOOM ミーティング参加希望」と明記の上、参加希望日と氏名を記載しメール送信してください。開催日夕方午後五時〜六時頃に招待メールをお送りします。招待メール記載の URL から入室下さい。開始五分前に開室いたします。

※スマートフォンで参加される方は、あらかじめ ZOOM アプリのインストールが必要です。

◆◆春日部だより◆◆

◎うだるような暑さごころか生命の危険と言われるような暑さが続いています。人間はオーバークヒートしないよう血液を冷却水として回すことで放熱をしています。体内が高温状態になると血液を皮膚下に集中させる(外気に近い場所で血液を冷やそうとする)ため、脳に流れる血液量が減りめ

まい失神する事があります。また人間には発汗によって排熱する仕組みがあります。汗は血液から作られるので汗をかきすぎると血液ドロドロ状態になります。また水分と同時に筋肉の収縮に必要な塩分も放出してしまうので、補給しないと熱けいれんの原因になります。①体内温度を下げる(冷房機の使用)、②血液や発汗の冷却を助けること(扇風機の使用)、③失われた水分塩分を補給すること(スポーツドリンク・水、塩飴などの併用)が大事なのです。逆に言えば、直射日光を浴びないおうちの中であってもこの三条件が整っていないければ熱中症になるリスクが高いというわけです。仏さま、先にお浄土に参られた方々にとって大切にかけがえのない存在に私やあなたなのですから、どうぞご自愛のほどを！

◎東京・神奈川のご門徒さま、七月のお盆参りでは大変お世話になりました。スコールのような雨や猛暑の日もあります、お経をあげさせて頂き、仏さまの安穩をお話しさせて頂ける

一期一会の経験は他に代える事が出れない事であると思っておこしております。色々とお心配り賜りましたこと深謝いたします。

◎去る七月十六日、YouTubeにてお盆法要生配信をいたしました。技術的トラブル(大幅な遅延)でうまく放映ができませんでした。改めまして八月十五日に編集した動画を公開いたしますので、左記リンクからご覧いただけますと存じます。Google等で「春日部 善巧寺」と検索して頂いてもトップに表示されるかと思えます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

浄土真宗本願寺派 善巧寺

埼玉県春日部市

<https://zengyouji-web.sakura.ne.jp>

